

数理・
データサイエンス・
AI教育の紹介

「数理・データサイエンス・AI教育プログラム
(応用基礎レベル) プラス」選定校における
教育実践取組みの紹介 (その1)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度は、学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解し活用する基礎的な能力（リテラシーレベル）や、課題を解決するための実践的な能力（応用基礎レベル）を育成するため、数理・データサイエンス・AIに関する知識及び技術について体系的な教育を行う大学等の正規の課程（教育プログラム）を文部科学大臣が認定及び選定して奨励するものです。これにより数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力及び実践的な能力の向上を図る機会の拡大に資することを目的としています。

本協会では、認定された教育プログラム（リテラシーレベル）の中から、先導的で独自の工夫・特色を有する教育プログラム（プラス）について、これまで大学からご協力いただきました教育実践などの取組みを令和4年度まで紹介しております。また、令和4年度から数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を育成する教育プログラム（応用基礎レベル）の認定が行われ、高等専門学校含めて「大学等単位」で27校、「学部・学科単位」では41校が認定されました。その中で、「認定教育プログラム（応用基礎レベル）プラス」の取組み（「大学等単位」6校、「学部・学科単位」3校）について、本号（9月号）と次号（12月号）に（「その1」、「その2」）として順次紹介させていただきます。なお、令和5年度に認定された（リテラシーレベル/プラス）、（応用基礎レベル/プラス）も次々号（3月号）以降に順次紹介させていただくことにしております。

以下に「認定教育プログラム（応用基礎レベル）」、「認定教育プログラム（応用基礎レベル）プラス」の要件を掲載します。

認定教育プログラム（MDASH*-Advanced Literacy）の認定要件

（「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 概要」より転載）

- 大学、短期大学、高等専門学校の正規の課程
- 学生に広く実施される教育プログラム（全学開講、学部・学科単位による申請可）
- 具体的な計画の策定、公表
- 学生の関心を高め、かつ、必要な知識及び技術を体系的に修得（モデルカリキュラム参照）
- 学生に対し履修を促す取組の実施
- 自己点検・評価（履修率・学修成果、進路等）の実施、公表
- 当該教育プログラムを実施した実績のあること

プラス選定要件：大学等の特性に応じた特色ある取組が実施されていること
認定教育プログラム プラス（(MDASH- Advanced Literacy+) の認定手続き等

（「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度 概要」より転載）

- 認定手続き等
 - 審査は外部有識者（内閣府・文部科学省・経済産業省が協力して選定）により構成される審査委員会において実施
 - 審査の結果を踏まえ、文部科学大臣が認定・選定
 - 取組の横展開を促進するため、3府省が連携して認定・選定された教育プログラムを積極的に広報・普及
- スケジュール
 - 3月：公募開始 5月：申請受付締切 7～8月：認定・選定結果の公表